

第6回 TIFA 国際子どもキャンプのご案内

日時:2012年8月21日(火)~23日(木)
場所:豊中市立青少年自然の家「わっぱる」にて
対象:小学4年~中学3年生 80人
参加費:一人8000円
★6月18日(月)より受付を開始します(先着順)
さまざまな国の講師から母国の言葉・遊び・料理などを学び、世界の文化を体験するキャンプです。
申し込みは電話・メール・FAXにてTIFA事務局まで

美味しく ヘルシーなコーヒーや紅茶をどうぞ!

- ヒマラヤ山脈の麓から「エベレスト コーヒー」 200g 豆・粉 890円
■ネパール産 ミルクティー用紅茶(手作りポーチ入) 100g 400円
■スリランカから直輸入 最高級イングリッシュティー 100g~ 600円~
カフェサパナ、グローバルとよなか(豊中市本町1-3-1)にて販売しています。郵送等のご希望もご相談ください。

入会のご案内

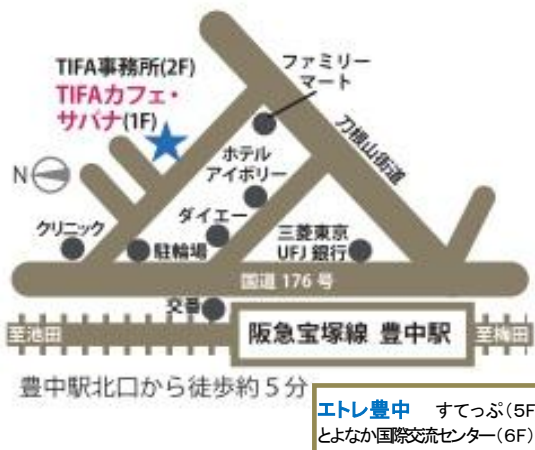
- 正会員...入会金2000円 年会費6000円(月500円)
TIFAで実際に活動を行う会員です。何かやってみたい方はぜひ!
■賛助会員...年会費 一口3000円
TIFAの活動を資金面で支援していただく会員です。ニュースレター等をお送りします。
■ネパール後援会員...年会費 一口5000円
ネパールプロジェクトの活動を支援していただく会員です。ネパールニュース等をお届けします。
■寄付...金額は自由です。活動に大切にに使わせていただきます。
入会方法等くわしくはTIFA事務局にお問合せください。

定期的開催している催し

- 多文化子育てサロン
毎月第1・3木曜 10時~12時
とよなか国際交流センターにて(豊中駅前エトレビル6F) 対象:子育て中の外国人親子
●国際交流なんでも相談
毎月第3水曜 13:30~16:00
市民活動情報サロンにて(阪急豊中駅北改札前) ビザや入管手続きの相談などお気軽に。
●サパナバザー
毎月第3土曜 10時~12時
TIFAカフェ・サパナにて
衣類、アクセサリ、生活用品、地元の無農薬野菜、手作りお菓子などが並びます。
●環境井戸端会議
毎月第3土曜 12:30~14:00
TIFAカフェ・サパナにて
グローバルな環境問題を身近な視点で学び、話合います。どなたでも自由にご参加ください。

<予告>

- TIFA セミナー「世界の中の日本~原発を選ばないという生き方」(仮題)
10月13日(土)14時~16時 すてっぷホールにて
講師:アイリーン・美緒子・スミスさん(環境ジャーナリスト・グリーンアクション代表)
●アジアの民族音楽と踊りのつどい(仮題)
10月20日(土) すてっぷホールにて
地域在住の外国人音楽家達がアジアの多様な文化を紹介します。



発行: 特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか

TIFA(国際交流の会とよなか)は、豊中市にて1985年11月に発足しました。メンバーと地域に住む外国人が協力し、言葉や文化、国籍が異なる人たちがともに生きやすい社会の実現を目指して活動しています。

事務局 〒560-0021 大阪府豊中市本町3-3-3
Tel/Fax: 06-6840-1014 TIFAカフェ・サパナの2階が事務所です
E-mail: tifa99@nifty.ne.jp
お問合せ・お申込みは 月~金曜 09:30~17:00
ホームページ: http://homepage1.nifty.com/tifa/
最新のイベント情報はホームページをご覧ください



「世界と出会う活動」ますます元気で

「世界と出会う空間」TIFA カフェ・サパナが生まれて2ヶ月がたちました。準備期間中からご支援いただいた皆様、オープニングに駆けつけてくださった皆様、ありがとうございました。少しずつ落ち着きはじめてサパナキッチンから、シェフやスタッフの声をニュースレターにてお届けします。また、新年度のスタートにあたり、地域での国際交流・国際協力活動のボランティアも募っています。どうぞお気軽にご参加ください。



「サパナ」(SAPANA)は、ネパール語で「夢」です。

サパナのキッチンより

オープンから2カ月経ちました。皆さまのご利用ありがとうございます!!
サパナでは現在8人の外国人シェフが交代で月曜日から金曜日までランチを販売しています。在住年数の長い方もいますが来日してまだ1年に満たない方もいます。母国語が英語の方は何とかこちらのつたない英語でも通じますが、そうでない場合はお互い身ぶり手ぶり「これ」「それ」「こうする」「はあ?」「?」こんなやり取りが続きます。そんな時は黙って彼女たちの仕事を見ています。家庭料理を店で販売するということは一見簡単そうですがいろいろな工夫が必要です。悪戦苦闘しながら何とか母国の味、雰囲気を提供したいという熱心さを、言葉より行動で示してくれて、少しずつ前進しています。カフェの方も夏に向けた新たなメニュー作りなど、もっと皆さんが利用しやすい場所となるよう工夫を重ねていきたいと思っています。これからもサパナをよろしく願います。(安本洋子)

ランチ担当シェフからのメッセージ



リアさん(インドネシア)
サパナは日替わりでいろんな国の料理を出すという、とてもユニークなカフェですね。私はインドネシアの伝統的な料理を紹介するためにがんばっています。お客様もスタッフもフレンドリーで家庭的な雰囲気が気に入っています。サパナはきっとうまく行くでしょう



ディーボンさん(インド)
サパナでは、いろんな国のいろんな文化を持つ人達といっしょに働けてとても楽しいです。私はベジタリアンなので、野菜のカレーやデザートが得意です。みなさん食べに来てくださいね!



フォンさん(ベトナム)
サパナは小さいけれど、ナイス&フレンドリーなレストランです。私はまだ日本語が苦手でお客様とうまく話せませんが、ここで料理するのはとても楽しいです。

TIFA カフェ・サパナは、国籍や文化の違いにかかわらず誰もが暮らしやすい社会を目指す市民活動の一環として運営しています。



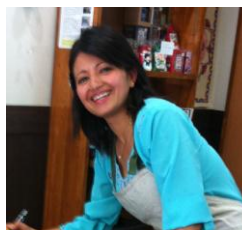
活動報告

サパナのランチシェフご紹介 (1面から続く)



スヒョンさん(韓国)

私たちが日替りで家庭料理をご紹介します。毎日来て世界の味を楽しんでください!



ススマさん(ネパール)



ビッキーさん(フィリピン)



グラディスさん(ペルー)



パティさん(ネパール)

土曜日のおたのしみ サパナ・サタデースペシャル

サパナでは、土曜日(不定期)にランチをいただきながらその国についてのお話を聞くイベントを開催しています。世界の家庭料理を味わいながら多様な文化や社会についての話が直接聞けると好評です。

これまで紹介したのは、チベット、グアテマラ、ネパール、イラン、中国・雲南省、内モンゴル、ブータンなど。今後はタイ(6月9日)、フランス領マルチニーク島(6月30日)など、次々登場します。ご参加をお待ちしています!



自作の詩を朗読するチベットのローゼルさん



ソナムさんからブータンの文化について聞く

CAFE & BAR CIELO

サパナが夜にはカフェバー「シエロ」に变身!リラックスした雰囲気の中で多文化コミュニケーションをお楽しみください。水曜～日曜(祝日除く)18:00～23:00

シエロのマスター前田さん→



■多文化子育てサロン



4月5日、万博公園へお花見に出かけました。桜の花はまだチラホラでしたが、子どもたちは芝生の上を思いっきり走り回り、皆でお弁当を広げて食べました。外に出かけるのは楽しいですね!



会員の青木さんから「ポテトパン」の作り方を教わりました。(5月17日)

■環境問題への取り組み

3月14日(木)、くらしかんでの「暮らしの研究発表」にて、環境プロジェクトの久保さんが「窒素分が野菜に及ぼす影響についての調査研究～今後の農業のあり方について」を発表しました。報告書をご希望の方はTIFA事務局までお知らせください。ホームページからもご覧いただけます。



■留学生・在住外国人支援バザー

4月6日(土)に大阪大学国際交流会館ロビーにてバザーを開催しました。10時前から沢山の留学生が集まり、16台の中古自転車は完売。服、布団、食器、鍋類などの生活必需品もどんどんなくなって行きました。品物を提供して下さった皆様、ありがとうございました。

■ベトナム留学生ランさんのお母さんの医療費支援報告

ランさんのお母さんは、病状が落ち着いた2月18日ベトナムの病院へ搬送されました。ご支援いただきました皆様に深い感謝の気持ちを伝えてほしいと言われております。ランさんは、大学院博士課程の最後の年で、来春には博士号を取得できるよう勉強に打ち込んでおられます。以下のように募金活動の結果を報告します。

募金額 合計: 3,070,020 円

ベトナム留学生会が集めた募金 1,442,020 円、国際交流市民ネットとよなか緊急基金から 300,000 円、3月4日のバザー・募金 201,000 円、インドネシア留学生会 111,000 円、TIFA・ロータリークラブ豊中からの募金活動分 456,000 円、大阪大学の先生から 560,000 円

支払額 合計: 3,070,020 円

救急病院へ 107,400 円、ベトナムへ搬送費用 834,620 円、循環器病センターへ 500,000 円(総請求額 7,508,216 円のうち)、循環器病センターへ 1,628,000 円(3月28日葛西立ち会い)

循環器病センターへの未払い額 5,380,216 円については、現在交渉中です。

(葛西)

NEPAL

ネパールの支援先の最新の写真です。くわしくはネパールプロジェクトニュースをご覧ください。



新しい校舎に喜ぶサラスワティ小学校の子どもたち



シンズリの子どもの家 Happy Girls Home にて



ドダウリ村でのミシン教室



制服の採寸を待つウダラタラの子ども達



ドダウリ診療所とスタッフ

葛西さん奮闘記 IN NEPAL

松野久子

(2012年4月23日～5月2日ネパール訪問)

今年の乾季末期のネパールでは、今までに経験したことのない暑さと強風、砂塵、スモッグなどで大変でした。その中の葛西さんのご活躍ぶりは、多くのネパールの人たちが相談したい、報告したい、援助が欲しいとたずねてきます。また、ダドウリへ支援活動に向かわれる小野さんの資料や材料探しに付き合っ方々へ行き、そのあいだを縫って、TIFAのネパールショップの品物の仕入れと私にとっては全部ついて走ることでもできませんでした。

20年近く、葛西さんを中心にTIFAがネパールシンズリ郡での幾つかのプロジェクトのうち、ダドウリのCLTCは地区が発展し、人々も協力的に事業が進んでいる様子うれしく拝見しました。今年は田舎の女性の自立につながるよう日本人の指導者が現地に1カ月滞在して頑張ってくださいますので成果を期待しております。

シンズリマディの子どもの家のほうは、今は子どもの数が少なくなって寂しいですが、20名近くの卒業生は結婚、仕事、学業と励んでいるようですし、10名の子どもたちは元気に将来にそれぞれの夢をもって生活しているようです。



20年前からその完成を待ち望んでいた、カトマンズーシンズリーインドへと続く日本のODAによるシンズリハイウェイはまだまだ時間がかかりそうなのですが、葛西さんに頼んで工事中のところと良い道が入り混じったこの道を7時間かかってカトマンズに帰着しました。数年ぶりのネパールは、マオイストの恐怖がなくなって、人々は伸び伸びと生活しているようでした。長年活動を続けてこられた葛西さんには頭の下がる旅でした。

「ネパールの母性保護活動の現場から」プラティバ・リジェールさん講演会

6月15日(金) 14:00～16:00

すてっぷ(豊中市立男女共同参画推進センター) 視聴覚室にて (参加無料)

主催: TIFA 外国人女性支援プロジェクト・TIFA ネパールプロジェクト